



## かけはし

第87号 2026年 新春号

発行：独立行政法人 国立病院機構

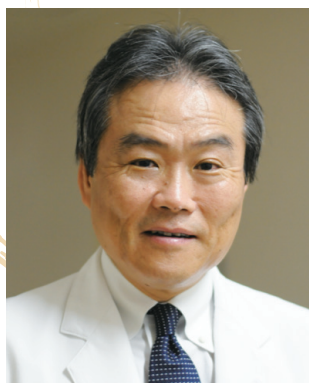


災害医療センター  
地域医療連携室



発行責任者：院長 大友 康裕

## 新年あけましておめでとうございます



院長  
おおとも やすひろ  
大友 康裕

新年あけましておめでとうございます。  
院長の大友康裕でございます。

2023年4月に院長を拝命してから、まもなく3年となります。昨年一年を、病院職員が力を合わせて無事に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。本年も、「いままでも、これからも。みなさまに愛される病院として」を合言葉に、地域医療の発展と皆様の健康を守るため、引き続き全力を尽くしてまいります。

コロナ禍では地域の医療機関の皆様にご不便をおかけする場面もございましたが、現在は通常診療体制も整い、地域の先生方との連携をより一層深めていきたいと考えております。

当院では、「先生方からいただいたご紹介をしっかりと受け止め、適切な医療を提供し、責任をもってお戻りする」という基本姿勢を改めて徹底してまいります。

一昨年より導入した手術支援ロボット「ダビンチ」は、順調に稼働が拡大しており、泌尿器科・消化器外科・呼吸器外科領域において、より高度で低侵襲な手術が安定して提供できる体制が整っております。腎・前立腺、胃・大腸、肺の悪性腫瘍やその疑いの患者さんがおられましたら、どうぞ当院へご紹介くださいますようお願い申し上げます。

また、放射線治療システムも更新し、最新型リニアックと高精度位置照合システムを導入いたしました。多方向からの高精度照射が可能となり、短時間で質の高い放射線治療を提供できるようになっております。

地域の先生方の利便性向上のため、当院では「プライオリティコール」により、医師が直接お電話でご相談を受け付けております。また、「当日入院の可能性のある患者さん」についても、どうぞ気兼ねなくご連絡ください。迅速に当院での診療につなげる体制を整えております。加えて、ネット予約システム「やくばと」も開始し、24時間365日、時間を問わず外来予約が可能となっております。ぜひお気軽にご利用ください。

地域医療の一翼を担う基幹病院として、私どもは本年も「安心して相談できる病院」であり続けるよう努力してまいります。地域の医療機関の皆様と手を携えながら、患者様一人ひとりに寄り添った最良の医療を提供することをここに約束いたします。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 副院長 伊藤 豊

当院は、高度急性期医療の担い手として診療に専心しています。入院対応できる診療科は22診療科です。救命医療、脳循環器急性期医療、がん診療を中心に入院対応ができるよう院内を整備しています。2024年4月からロボット支援手術を導入し、消化器外科、泌尿器科、呼吸器外科の対象疾患が過不足なく対応できるようになりました。放射線治療機器を更新し、悪性疾患の対応は難治がん診療を含め集学的治療の充実に努めていきます。地域の先生方のご支援、ご協力を引き続き賜りたいです。

## 統括診療部長 上村 光弘

コロナ・インフルエンザがしつこく現場を翻弄し、また多くの病院と同様に困難な経営の舵切りを迫られております。そんな中でもロボット手術の拡充、放射線治療機器の刷新などの治療のみならず、がん相談室・がんサロンなど患者さんへの情報発信も充実させて参りました。取り巻く環境は厳しくとも災害医療センターは今までと同じく精一杯頑張る所存です。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 特命副院長(運営担当) 臨床研究部長 植竹 宏之

昨年10月より特命副院長を兼務しております。臨床研究や学術的な活動と日々の診療は密接に関係しています。すなわち、論理的思考や緻密な考察は日常臨床の質の向上に寄与し、健全な病院運営につながります。当院は高度な医療を提供し、皆様が安心して受診できる医療機関でありたいと思ひます。

## 事務部長 齋藤 俊彦

あけましておめでとうございます。旧年中は当院に賜りました数々のご厚情並びにご支援に対し、心より御礼申し上げます。昨年来、「物価高騰」、「働き方改革」等、医療機関は全国的に苦しい病院運営を強いられておりますが、令和8年も引き続き、厳しい状況が続くことが、想定されますが、当院の基本方針の1つである、医療・保健・福祉において医療連携を推進し、開かれた病院を目指し、更なる努力をすることで、病院運営に資すると考えております。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくおねがひいたします。

## 看護部長 鈴木 美和

新年明けましておめでとうございます。今年も質の高い看護と安心をお届けし、地域医療を支える使命を全うして参ります。本年もよろしくお願ひします。

## 総合診療科 医長 原 英則

お気軽にご相談ください。

## 血液内科 部長 関口 直宏

正確な診断、適切な治療を心掛けております。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

## 腎臓内科 医長 河崎 智樹

保存期CKDから急性腎障害、透析診療まで積極的に行っております。今年もよろしくお願ひ致します。

## 膠原病・リウマチ内科 医師 長田 侑

関節リウマチやその他膠原病で、入院治療もできる、立川近辺では数少ない病院です。診断未確定の症例から、疼痛が強い症例、感染症への治療が必要な症例なども含めて対応致します。



## 脳神経内科 第一外来部長 大林 正人

脳梗塞だけでなく、神経変性疾患・認知症の診断など幅広く対応しております。認知症については物忘れ外来をご活用ください。お気軽にご相談ください。

## 呼吸器科 医長 山名 高志

呼吸器科では、昨年度より医師数も増え、診療体制が充実しています。肺癌や間質性肺炎を中心に診療しておりますが、その他の疾患についてもお気軽に御相談ください。

## 循環器内科 第一病棟部長 清水 茂雄

心房細動に対するカテーテル治療、パルスフィールドアブレーションも順調に施行しております。循環器一般や、24時間対応で循環器救急にも努めてまいります。よろしくお願ひ致します。

## 消化器内科 部長 板倉 潤

消化器系臓器すべての疾患に対処いたします。がんも、ESD・ERCPなど処置症例も大歓迎です。お気軽にご連絡ください。本年もよろしくお願ひします。

## 糖尿病・内分泌内科 医長 榛澤 望

糖尿病・内分泌疾患に加えて、肥満症治療薬の導入も開始しました。該当する患者さん、疑わしい患者さんがいらっしゃいましたら気軽にご相談ください。

## 救命救急科 部長 長谷川 栄寿

北多摩西部地区唯一の救命救急センターです。原因不明、臨床診断および治療困難事例があれば、お引き受けします。是非ご相談ください。

## 消化器・乳腺外科 部長 山崎 慎太郎

がん診療の拠点病院として、ロボット手術・鏡視下手術・開腹手術・術前後抗がん剤治療と全ての治療を用意します。高難度手術症例であっても、地域の最後の砦として積極的に対応しています。

## 整形外科 第二外来部長 松崎 英剛

脊椎疾患、関節疾患、骨折外傷、骨粗しょう症等、整形外科全般に対応しています。対応できない疾患の場合は専門施設を紹介させていただきます。

## 脳神経外科 第二病棟部長 早川 隆宣

脳腫瘍や脳動脈瘤・頸動脈狭窄症等の脳血管障害など、手術・血管内治療を含め患者様に最適な治療を選択し行います。まずはお気軽にご紹介ください。本年もよろしくお願ひいたします。

## 形成外科 医長 藤原 修

熱傷や顔面・手指外傷から皮膚皮下腫瘍、眼瞼下垂、難治性潰瘍、下肢静脈瘤他まで、質の高い医療を心掛けております。是非ご相談ください。

# 謹賀新年



## 耳鼻咽喉科 医長 大野 慶子

外来診療および、入院・手術加療に幅広く対応しております。本年もどうぞよろしくお願いたします。



## 麻酔科 手術部長 窪田 靖志

患者さんがストレスなく手術をお受けいただけるような麻酔・術中管理を心掛けています。また、術後痛に対する硬膜外麻酔やブロック麻酔なども併せて行い、快適な術後療養を提供します。

## がん疼痛相談外来 医長 白澤 円 緩和ケア認定看護師 中川 愛

コンサルテーション型ではありますが、がん患者さんを対象にからだのつらさを和らげ、がんの治療や療養生活に向き合い、自分らしくすごせるように支援しています。

## 健診部 部長 正岡 博幸

人間ドック、特定健診、各種がん検診(肺がん・乳がん・上部内視鏡・下部内視鏡)、脳ドック、骨粗しょう症ドック、など行っております。患者様へのご紹介など、本年もよろしくお願いたします。

## 薬剤部 薬剤部長 荒 義昭

我々薬剤師は薬の専門家として、より良い薬物療法と薬の安全管理に貢献していきます。「薬あるところに薬剤師あり」を目指し、地域との連携を推進し、顔の見える薬剤師を心掛けて参ります。

## 中央放射線部 診療放射線技師長 武田 聡司

私たち診療放射線技師は、常に患者さんに寄り添い、放射線診断科・放射線治療科や他職種とも密に連携し、質の高い画像と高精度な治療を、安心・安全に提供するように努めて参ります。

## 臨床検査科 臨床検査部長 平野 和彦 臨床検査技師長 中島 亮

患者さんを第一に考え、迅速で正確な検査結果を提供できるよう臨床検査科スタッフ一同努めてまいります。本年も引き続きよろしくお願いたします。

## リハビリテーション科 理学療法士長 菅原 令子

急性期から在宅まで切れ間ない支援を強化し、地域の皆さまと共に「信頼されるリハビリ」を提供できるよう。スタッフ一同努めて参ります。



## 臨床工学室 臨床工学技士長 佐藤 正道

我々臨床工学技士は、各種医療機器及び生命維持管理装置の操作と保守管理を通して安全な医療を提供します。ロボット手術においても他部門と連携し、医療の質をさらに高めます。

## 栄養管理室 栄養管理室長 神谷 しげみ

安心・安全でおいしい病院食の提供と、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った治療効果のある栄養食事指導や栄養管理をスタッフ一同努めて参ります。



## 地域医療連携室 地域医療連携室長 上村 光弘

前方連携と後方連携は地域医療を円滑に運営していくための両輪です。地域にさらに貢献させて頂きたく、引き続き今年もよろしくお願申し上げます。

## 呼吸器外科 医長 宮内 義広

肺がん・縦郭腫瘍・自然気胸に対する手術を中心として胸部外科一般に幅広く対応いたします。お気軽にご紹介ください。

## 心臓血管外科 医長 大井 啓司

心臓血管外科治療の質の向上・医療サービスの向上を目指し、地域と患者さんに安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。本年もよろしくお願申し上げます。

## 皮膚科 医長 宮崎 安洋

本年も皮膚疾患に真摯に対応していきます。ご紹介をどうぞよろしくお願致します。



## 泌尿器科 医長 野田 治久

泌尿器科癌を中心に全般に対応します。ロボット支援手術含め適切な治療をご提案致します。今年もよろしくお願いたします。

## 小児科 医長 石黒 精

小児科は2025年4月に入院を含めて再開しました。血液疾患(とくに血栓止血領域)およびアレルギーを目玉として、順調に再開できています。これもひとえに多くのご紹介をいただいている先生方のお陰と厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 産婦人科 医長 長野 宏史

産婦人科は人員不足のままですが、妊娠初期の産科診療そして良性悪性の婦人科疾患を受け入れております。地域医療に貢献する所存です。



## 眼科 医師 金井 秀美

昨年に続き本年も常勤医師不在のため、外来診療および硝子体注射がメインの診療となります。白内障手術、ポトックスは近隣眼科へのご案内となります。本年もよろしくお願致します。

## 歯科口腔外科 医長 西村 敏

歯科口腔外科では外来処置から入院手術、さらに入院患者さんの口腔ケア、周術期口腔機能管理まで対応していきます。本年もよろしくお願いたします。



## 放射線治療科 医長 岸 和史

新年おめでとうございます。放射線治療科は素晴らしい最新型 TrueBeam治療装置の導入で近隣からの依頼も増えつつあり、今年では更なる地域貢献が可能なすてきな一年を迎えようとしています。

## 放射線診断・IVR科 部長 一ノ瀬 嘉明

CTやMRI、核医学検査などの迅速で的確な画像診断報告を心がけております。各診療科の協力の下、血管系・非血管系の各種IVRにも対応しております。どうぞよろしくお願申し上げます。

## ペインクリニック外科 医長 白澤 円

急性～亜急性期の非がん患者さんを対象とした『痛みの外来』と、認定看護師と共に『がん疼痛相談外来』を行っています。

# 陸上自衛隊立川駐屯地航空祭に参加して

救命病棟 看護師 渡邊 あや

創立52周年を記念して、立川市にある陸上自衛隊立川駐屯地にて航空祭が11月2日(日)に開催されました。航空祭は、毎年多くの来場者が訪れる大規模なイベントで、陸上自衛隊立川駐屯地を一般開放して航空機・防災装備品展示、災害救助活動展示などが行われます。毎年、災害医療センターも参加しています。当院は、東京都における基幹災害拠点病院であり、東京都にある災害拠点病院84病院の中心的役割を担っています。また、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team「DMAT」隊員も多く在籍しており、災害時の派遣体制を整えています。DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、その活動では様々な機関との連携が重要になります。航空祭では自衛隊とDMATが連携した活動を行いました。

今回行った展示訓練では、災害現場で自衛隊の救助活動により救出された傷病者をDMAT隊が引継ぎ救急搬送する、自衛隊とDMATの連携を再現するものでした。災害現場では、災害救助活動にあたる自衛隊と医療を担うDMATの連携は不可欠です。このような現場を一般の方が目にする機会は少ないため、自衛隊との連携や迅速な活動が伝わるように心がけました。また、当院に配備されているDMAT Carや活動服、装備品の一部を展示し、ご来場の皆様から多くの質問やご意見をいただきました。近年、映画・ドラマ・報道などでDMATが取り上げられる機会が増え、幅広い年代の方から関心が高まっていることを実感し、嬉しく思います。

今回の航空祭への参加を通して、DMATは自衛隊をはじめとする関係機関との日頃からの連携の重要性をあらためて実感しました。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。平時からの訓練や交流、現場さながらの実働を重ねることで、実際の災害発生時に“一つのチーム”として迅速かつ確実に動くことができます。今後も基幹災害拠点病院としての役割を果たすべく、災害医療体制の強化と地域医療連携の深化に努め、住民の皆さまの安心と安全を守るための活動を続けてまいります。



# 災害医療センターとがん教育出張講座

副院長 伊藤 豊

当院は2014年以降、厚生労働省より東京都北多摩西部医療圏の地域がん診療連携拠点病院としての指定を受けています。拠点病院として各種がん診療のほかに地域へのがん啓発関連事業を行っています。成人向けには市民公開講座を開催し、がん診療の内容についての学習会を開催しています。その他に義務教育課程の小中学校を中心に出張し、保健体育の授業の中で、がんについての情報を提供しています。これは文部科学省のがん教育のガイドラインに準拠して行っています。



当院は2018年より小中学校へのお出張講座を開始しました。当時、第3次がん対策基本計画にはがん教育の重要性が唱われていましたが、実のところ都内では一部の先進的な施設で開始されていました。がんの啓発活動に造詣の深い神奈川県黒岩祐次知事の主導で実施していた、がん教育のドキュメンタリーテレビ番組を参考に、各市の教育委員会と供覧して出張講座を開始しました。教材はあえて文部科学省の推奨スライド使用にこだわり、指導要綱から外れない工夫を今日まで行っています。



訪問先は立川市を中心に昭島市、国分寺市の小中学校に出張講座を行いました。発がんのしくみ、がん病期と生存率、発がんの原因、環境因子との関係、検診の重要性、がんの3大治療と第4のがん治療法となる免疫チェックポイント阻害剤治療、担癌患者との向き合い方について、などを主な講義内容としています。授業の後半は教員、生徒のほかPTA、市議会議員の方々が参加し、積極的な質疑応答を行いました。2023年3月には都立高校へ出張講座を行いました。高校の授業では、当院で瞬がん治療中の患者さんに触れあう授業を行いました。患者さん自身が語るがん告知を受けたときの絶望感、抗がん剤治療を13サイクル、約1.3年間の長期間を受けたこと、抗がん剤治療のすえ、根治切除術が可能となり、8時間の根治切除術を乗り越えたこと、術後の社会復帰等の様子をその時々感じた思いを踏まえて、赤裸々に語って頂きました。

コロナ禍には一次中断した出張講座でしたが、2024年度からは再開し、2025年度も12月現在すでに6校へ伺うことが出来ました。8年に渡る出張講座の中で情報提供が大きく変わったことは、ヒトパピローマウイルスの抗ワクチンが立川市において2025年度より男女ともに提供できるようになったことを授業においてふれることが出来たことです。そしてノーベル医学生理学賞の受賞理由になった2005年の胃癌発癌に関わるピロリ菌の存在、2018年の免疫チェックポイント阻害剤開発についても触れ、医学の進歩に興味を持って頂く工夫をしています。今後も子供たちのがんについて啓発活動を継続していきたいと思っています。



# 2025年度第2回市民公開講座 「がん放射線治療の最前線—放射線治療技術の進歩と実際—」 を開催して

放射線治療科 早川 和重

この度、市民公開講座「がん放射線治療の最前線—放射線治療技術の進歩と実際—」を2025年11月8日(土) 13:30~15:30に立川市女性総合センター・アイムホールで開催いたしました。当初、定員120名で参加者を募集しましたところ事前予約者が145名にのぼり、最終的には118名の方々にご参加いただきました。

今回の講座は、若年層や就労世代も含めた全世代に対してがんについての理解を深め、放射線治療について正しい知識を取得してもらうことを目的に企画しました。プログラムは、1) がん放射線治療の最前線(放射線治療科・早川和重)(60分)、2) がん放射線治療を受けて(患者代表・別役由布子氏)(10分)、3) 身体にやさしい放射線治療を目指して:看護の立場から(がん放射線療法看護認定看護師・早川昌代)(20分)で構成し、30分近くを質疑応答にあてました。

当院は地域がん診療連携拠点病院であり、日本放射線腫瘍学会(JASTRO)の放射線治療認定施設です。放射線治療部門のスタッフとして放射線治療専門医3名(常勤医1名、非常勤医2名)、治療専門医学物理士1名、放射線治療専門放射線技師1名、がん放射線療法看護認定看護師1名、専任看護師1名、医師事務作業補助者1名が勤務しており、他に診療放射線技師3名がローテーションしています。放射線治療関連機器は、高精度外部放射線治療装置TrueBeam1台、画像誘導放射線治療(IGRT)システム(ExacTracDynamic)1式、放射線治療計画CT(32列multisclice、4D対応)1台、放射線治療計画装置Eclipse4台で、頭部・体幹部の定位放射線治療、強度変調放射線治療など最先端の放射線外部照射技術が導入されています。

講演では、簡単ながんの成り立ちから転移能、腫瘍免疫との関連性等について解説した後、当院で実施している最新の放射線治療技術について触れ、さらに薬物療法との併用の意義・効果について解説した後小線源治療や保険適応が拡大した重粒子線治療についても紹介しました。また、具体的な当院での治療症例の経過も随時提示しました。当院で放射線治療を受けた別役氏の話は聴衆にも好感を持たれたようです。早川看護師の話は放射線治療の安全性、副作用対策など分かりやすい内容でした。がん治療の中で放射線治療は最も身体に負担の少ない治療であり、多くは外来通院で治療できます。仕事に従事されている方は就労と治療との両立も可能で、治療との向き合い方について理解を深められた方もおられたのではないのでしょうか。

放射線治療科では、多くの悪性腫瘍を対象に関連各科との連携を密にして、個々の患者の病態に応じて薬物療法との併用も含めて最適な治療を提供できるように努めています。とくに患者の活力(免疫力)を維持しつつ、QOLにも配慮して対応しています。院内はもとより多摩・西東京地区の近隣医療機関や都心部からの紹介患者も増えて来ています。参加者アンケートの集計結果では、内容について「期待以上」が50%、「期待通り」が46%を占め、有意義であったとの具体的なご意見も多数寄せられました。主催者として安堵するとともに今後も地域のがん治療に貢献できるよう皆で励んでまいりたいと思っております。

最後に共催頂きました立川市および立川市医師会に感謝申し上げますとともに開催準備から当日の運営に携わって頂きました事務職、病診連携室スタッフの皆様にも心より感謝申し上げます。



# NBC災害・テロ対策研修

救命科医長 小原 佐衣子

当院は災害基幹病院および災害拠点病院として、自然災害に加え、化学・生物・放射線・核（Nuclear, Biological, Chemical：以下NBC）災害といった特殊な災害にも対応する役割を担っております。

放射線災害の例としては、東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故により、医療機関が避難を余儀なくされた事例がございます。また、化学災害の例としては、地下鉄サリン事件において多数の患者さんが複数の医療機関へ搬送されたことに加え、和歌山カレー毒物混入事件のように地域社会へ深刻な影響を与えた中毒事案も発生しております。

特殊な災害によっては多数の傷病者が同時に発生することがございます。このような災害は突然起こり得るため、日ごろから訓練を重ね、いつでも対応できる体制を整えておくことが大切です。

当院は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）との協力協定に基づき、通常の医療機関では対応が難しい、放射線災害で被災した重症患者さんの受け入れや高度な医療支援を行う体制を整えております。

その取り組みの一環として、先日当院ではNBC災害を想定した机上訓練と実技訓練を実施いたしました。これらの訓練は、災害拠点病院として求められる特殊災害への対応力を高めることを目的としており、職員が対応手順を確認し、実践的な技能を身につけるための大切な機会となりました。訓練では、災害対策本部の設置訓練や汚染物質の除去（除染）訓練、防護服や防護マスクを着用した状態での診療や医療処置など、実際の現場を意識した内容を実施いたしました。

また、汚染が疑われる状況では、できるだけ早く服を脱いでいただくなど、患者さんご自身のご協力が必要となる場合もございます。今回の訓練で得られた学びを、地域のみなさまの命を守るための大切な備えとして、今後の取り組みにしっかりと活かしてまいりたいと考えております。



## 当院へ多数ご紹介いただいている医療機関様

武蔵村山病院	鈴木慶やすらぎクリニック	東京西徳洲会病院
立川クリニック	昭島病院	武蔵村山さいとうクリニック
立川相互ふれあいクリニック	立川中央病院	うしお病院
立川駅前こばやし内科・胃と大腸内視鏡クリニック	新小平クリニック	くどう歯科クリニック
砂川医院	村山医療センター	おおたか脳神経外科・内科
半田医院	MOREデンタルクリニック	浅見胃腸科外科医院
小林歯科クリニック	奥平クリニック	小林医院
しらたま皮膚科クリニック	藤井医院	東大和循環器科内科
あおば内科クリニック	公立阿伎留医療センター	北立川歯科医院
やましたクリニック	東大和てらだ歯科クリニック	まつだ腎・泌尿器科クリニック
岡部医院	メトロ歯科医院	立川内科クリニック
くすのき内科クリニック	立川相互病院	日野市立病院
東大和病院	平田循環器内科	ふじの歯科医院
西国立整形外科クリニック	クリニックファーレ	宮本整形外科医院
たちかわファミリークリニック	国家公務員共済連合会 立川病院	立川南口耳鼻咽喉科
柏町内科・消化器内科クリニック	立川北口健診館	川野病院
新城医院	ソラハレ歯科・矯正歯科	かめい内科・外科クリニック
しょうわの森子どもクリニック	立川新緑クリニック	しんクリニック
ぜんしん整形外科立川スポーツリハビリクリニック	あまり歯科	ふじさわクリニック
石井医院	アイエスクリニック	こうた皮膚科・泌尿器科クリニック
街のクリニック 立川・村山	林整形形成外科	重城内科クリニック
東京都総合組合保健施設振興協会 多摩健康管理センター	かしわ子どもクリニック	永田歯科医院
豊泉胃腸科外科	田島内科クリニック	山下皮膚科医院
セントラル歯科医院	ナビタスクリニック立川	おさか内科・整形外科
さくら街道歯科	楓クリニック	杏林大学医学部付属病院
西村歯科クリニック	竹口病院	遠山クリニック形成外科・皮ふ科
翔整形外科クリニック 八王子院		

通常受診予約・転院相談は、こちらへご連絡ください。



独立行政法人国立病院機構災害医療センター

地域医療連携室 ☎042-526-5613 受付時間：平日（月～金） 8:30～18:00

※医療機関から直接ご連絡ください。患者さん、ご家族の方からのご相談はお受けしていません。

災害医療センター 連携医師専用ダイヤル「プライオリティコール」

いつでもハヤク

☎042-526-5889

判断にお困りの症例や緊急が疑われる症例などご相談ください。医師が24時間365日直接対応します。

Information1

がん相談支援センター **がん患者の就労支援相談**

●日時：2026年 1月 8日（木） 3月12日（木） 全日 9:30～12:00（1回45分／1日3名程度）

●対象：がん患者・家族・企業の方々

●場所：災害医療センター 1階 がん相談支援センター

事前予約・相談無料

次年度以降も奇数月の第2木曜日に開催予定です。

医療連携ニュース「かけはし」へのご意見感想をお待ちしております。ご連絡は地域医療連携室まで。



【地域医療連携室】

TEL:042-526-5613 FAX:042-526-5547  
Eメール:216-renkei.shitsu@mail.hosp.go.jp